https://fukuokae.hosp.go.jp/

福岡東医療センター地域連携 広報誌

# ちどり

Vol.63
OCTOBER
2026

## Contents

巻頭言：外来診療効率化について
特集1：循環器科紹介　特集2：糖尿病内科紹介
● チーム医療（薬剤部）　● 地域連携室だより　● 院内おすすめスポット　● 宿泊研修　● 消防訓練




病院の基本理念
「患者よし、職員よし、病院よし」

病院の運営方針

- 病む人の人権を尊重し良心的な質の高い医療を提供します
- 安全で心温まる医療を提供します
- 臨床研究を推進し医学・医療の進歩に貢献します
- 教育研修を通して人材育成に努めます
- 新しい医療情報を発信し地域医療の発展に貢献します
- 職員が一体となり健全な病院経営に努めます

# 外来診療効率化について

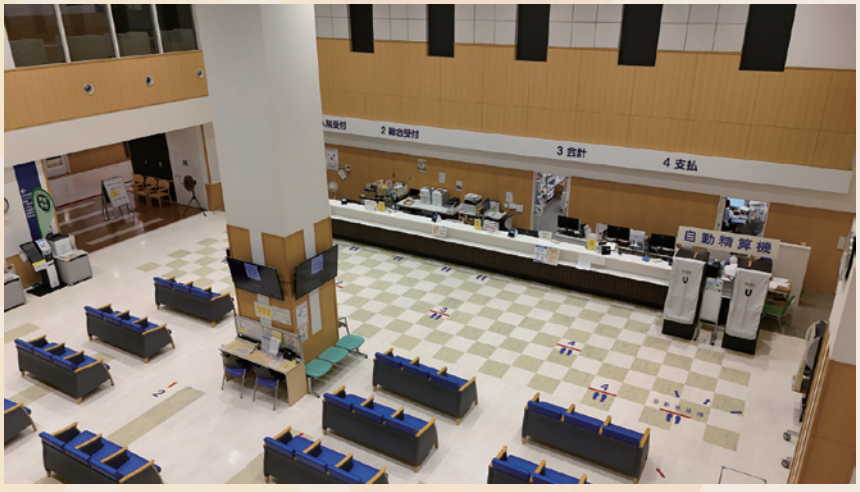


副院長 大越（おおごし） 恵一郎（けいいちろう）

当院は毎日500名前後の外来患者さんが受診され、そのうち多い日には1日60名を超える新患、紹介患者さんが来られます。そのため患者さんの待ち時間を短縮するには効率的に対応しなければなりません。国立病院機構主催の患者満足度調査、特に2025年度調査では当院は外来待ち時間の項目の満足度が低いという結果でした。

そこで院長の号令の下、受付から会計終了までを時系列に分割、分析し、それぞれの時間短縮を目指して活動中です。具体的には1.新患受付は午前中の早い時間帯に集中し、必要書類の記載に時間がかかっていました。そこで繁忙時に受付担当者をコンシェルジュとして配置し、患者さんを手助けするようにしました。2.採血について、患者さんの集中する午前の早い時間帯に採血に従事する職員を増員することにしました。3.各科受付のスタッフが受付業務に忙殺され、患者さんの待ち時間につながっていたため、受付業務を簡素化しました。それにより時間短縮とともに看護師はより専門職としての仕事に専念できるようになってきました。4.現在診療終了後から会計までのシステム、手順を見直し、少しでも会計の計算時間の短縮ができるように改善を進めているところです。

まだまだ現在進行形の活動ですが、引き続き患者さんの満足度の向上を目指して、職員一同取り組んでまいります。






Activities Introduction：1

# 循環器科紹介

循環器科 部長　中司（なかじ）　元（げん）

## 現在5名の常勤医師と1名の診療看護師で日々診療を行っております。






小池前部長の退職に伴い、2026年4月より部長を拝命しました中司（ナカジ）と申します。地域の皆様のお役に立てるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。

当院の循環器科は、現在5名の常勤医師と1名の診療看護師で日々診療を行っております。

対象となる主な疾患は、①狭心症や心筋梗塞といった虚血性心臓病、②息切れや足のむくみが見られる心不全、③心房細動をはじめとする頻脈性不整脈や洞不全症候群などの徐脈性不整脈、④歩くと足が痛だるくなる下肢閉塞性動脈硬化症、⑤その他には肺塞栓症や弁膜症などです。これら循環器疾患では急に発症して生命に直結するものもあるため、当科では24時間365日、断らない医療を心がけております。

循環器疾患の多くは、発症後に治療して軽快しても再発・再増悪するケースが多々あります。心不全がその代表で、退院後に塩分摂取が多くなったり、畑仕事に精を出しすぎたりすることで心臓に負担がかかり、心不全が悪化することがあります。管理栄養士や薬剤師、理学療法士などの多職種と連携してチーム医療を行うことで、できるだけ再入院を繰り返さないよう取り組んでいます。

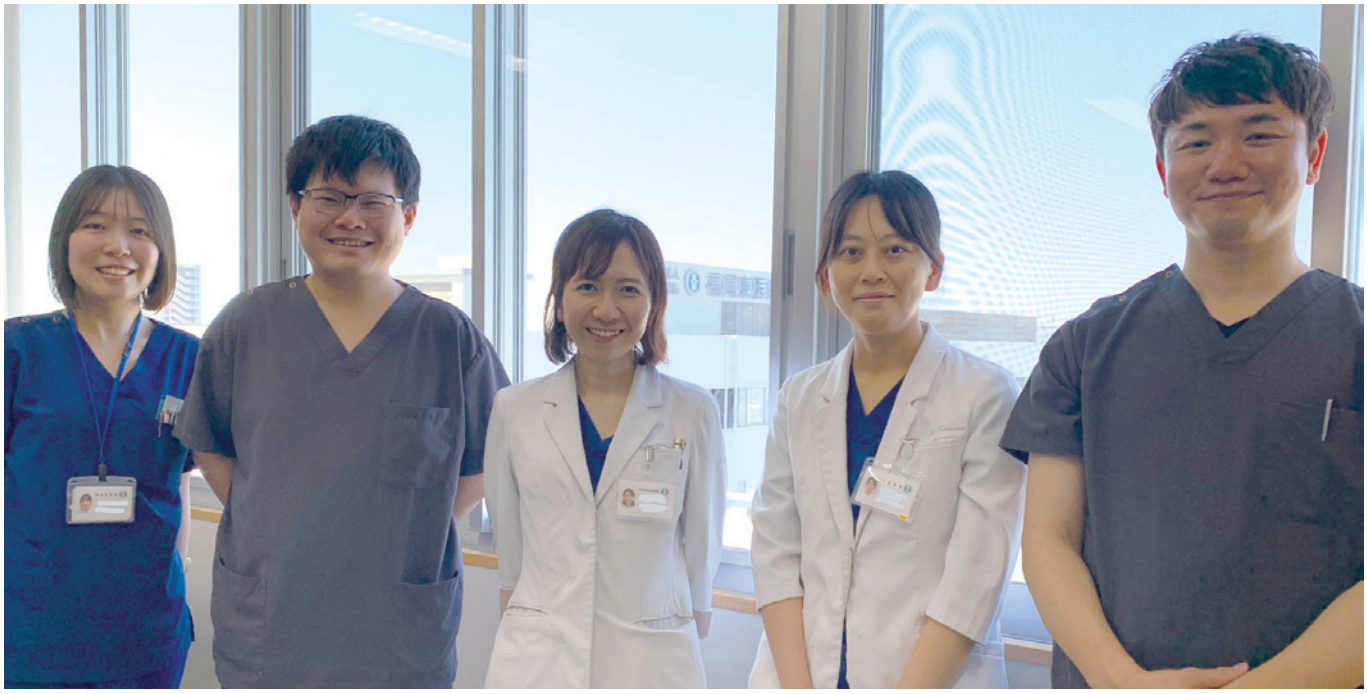
地域の皆様におかれましては、スタッフ一同、親身な診療を心がけるよう日々努めていますので、安心して受診いただきますようお願い申し上げます。また昨今の現状として、循環器医は全国的に減少傾向で、残念ながら当院の循環器科医も年々減っております。地域医療の砦として救急患者、重症患者にしっかり対応できるよう、病態が落ち着いていらっしゃる方は近隣のクリニックへの通院をお願いすることになりますが、何卒ご理解いただけますと幸いです。



Activities Introduction：2

# 糖尿病内科紹介

糖尿病内科 医長　大城（おおしろ） 彩香（あやか）



糖尿病内分泌内科では糖尿病全般(1型糖尿病/2型糖尿病/妊娠糖尿病/その他の糖尿病)や脂質代謝異常などの生活習慣病全般に加え、甲状腺や副腎を中心とした内分泌疾患の診療を行っています。また、近年増加している肥満症(BMI 27以上)に対するインクレチン製剤による治療にも対応しております。現在は4名体制で診療にあたっています。

診療の大きな特徴の一つは「オーダーメイド治療」の実践です。糖尿病教育入院の方には持続グルコースモニタリング（CGM）機器「Dexcom G7」を使用し、外来でも「フリースタイルリブレ2」とあわせ活用することで詳細な血糖変動に基づいた治療提案を行っています。インスリンポンプ療法も積極的に推進しており、患者さん一人一人の希望やニーズに最大限応えられる体制を整えています。

入院診療では2週間の教育入院を基本としつつ、服薬コンプライアンスや認知機能の確認を行い、個々にあわせ期間を短縮するなどフレキシブルな対応を心がけています。特に当院の特色として、心理面から過食に至るケースをサポートするため心療内科医とも密に連携しており多角的な視点から療養生活を支えています。

今後も地域の先生方とより強固に連携し、高齢化に伴う課題解決や合併症の早期発見に努めてまいります。初めて高血糖を指摘された方からHbA1cが8%以上で管理に難渋されている方まで、どうぞお気軽にご相談ください。




持続グルコースモニタリング（CGM）
機器「Dexcom G7」「フリースタイルリブレ2」



多職種で行う糖尿病教育入院カンファレンス

チーム医療

# 救命救急病棟における薬剤部の新たな取り組み

薬剤部 山村（やまむら） 想世花（そよか）



薬剤部では、重症患者さんに安全かつ迅速で最適な薬物療法を提供し、患者さんの予後改善に貢献することを目的として、令和8年7月から救命救急病棟に専任薬剤師の配置を開始しました。

救命救急病棟では、患者さんの病態が刻々と変化し、それに伴って必要となる薬剤や投与方法も変化します。そのため、迅速な薬学的判断と、多職種との連携が求められます。

持参薬・服用薬の確認、服薬指導、簡易懸濁法への対応、配合変化の確認、点滴の流量確認、腎機能・肝機能に応じた投与設計の提案などを行い、安全な薬物療法を支援できるよう取り組んでいきたいと考えています。

救命救急病棟の看護師や管理栄養士からは、「薬剤師にすぐ相談できるようになった」「薬の効果や併用について気軽に確認ができる」といった声が寄せられており、救急医療への薬剤師の参画について好意的な意見をいただいています。

今後も、薬学的専門性を最大限に発揮し、多職種と協働しながら、患者さん一人ひとりに最適な薬物療法の提供と、安全で質の高い救急医療の実現に貢献していきたいと思います。



患者さんの状態について医師の先生方と確認している様子




救急担当の宮本伊織薬剤師と河野友里薬剤師

# 5/30に市民公開講座を開催しました!

地域医療連携係長 中谷（なかたに） 綾子（あやこ）




令和8年5月30日(土)に、市民公開講座をリーパスプラザこがで開催しました。当院は、古賀市立図書館と共催し、市民向けにがんに関する情報を提供し、がん相談の対応を行っています。今年度で7回目を迎えました。

今回は「今、知っておきたいがん検診～あなたと大切な人のために～」をテーマに実施しました。20歳代～80歳代の25名の参加がありました。当院から4名の医師が講演を行い、「大腸がん」について消化器内科田中部長、「胃がん」について消化器内科藤井医長、「肺がん」について呼吸器内科神宮司医師、「乳がん」について乳腺外科石田部長から検診の必要性や検査内容などについてお話をしました。 大腸がんは、罹患数・死亡数は増加しており、自覚症状があって検査した場合、50%以上 がIII~IV期に進行しています。胃がんでは、自覚症状があって検査した場合は、40%以上でIII～IV期で発見になっています。検診を受けることで早期の段階で発見でき、治癒率も上昇することをお話しました。肺がんについても、早期発見が重要であり、禁煙することが最大の予防であるとメッセージを送りました。乳がんは、2年に1回の検診の必要性と検診の流れについてお話しました。



参加者からは、がんのリスク要因や運動ががん予防になるのか、どのような検査を行う方がいいのかなどの多くの質問がありました。アンケートでは、ほとんどの方が満足度が高かったとの意見があり、がんに関する治療と副作用、食生活と運動についての関心が高いことがわかりました。

今後も地域の方々が知りたい、学びたいと思う内容について情報提供し、健康促進に寄与できるよう活動していきたいと思います。



次回は2027年11月開催予定です。多くの方の参加をお待ちしています。

Recommended Spot

# 当院のおすすめスポット

## 当院のリハビリテーション科

作業療法士 永元（ながもと） 宏起（ひろき）



当院のリハビリテーション科は、様々な疾患に対する急性期のリハビリを提供出来るよう、常勤医師1名、非常勤医師1名、理学療法士13名、作業療法士8名、言語聴覚士5名の計28名で構成されており、急性期病院の特性を活かし、発症早期から患者様一人ひとりに合わせた集中的なリハビリテーションを提供しています。リハビリテーション室には、機能回復を最大限にサポートするための多くの機材が準備されており、日々患者様と 共にリハビリに取り組んでいます。









リハビリテーションセンターは、外来棟2階に設置されており広々とした解放感あふれるフロアとなっています。また、各病棟には「サテライトリハビリ室」が設置されており、患者様へタイムリーにリハビリの時間を提供出来る様になっています。








# 対話で育むチームの絆！
# R８年度新採用者・転入者宿泊研修を終えて

教育担当看護師長 佐藤（さとう） 孝光（たかみつ）

5月29日（金）・30日（土）の2日間、新採用者・転入者を対象とした宿泊研修を開催いたしました。

今年で3回目を迎える本研修。全職種から約100名の参加者の笑顔に触れ、充実したひとときとなりました。

■「入職2ヶ月目」だからこそできる学び

例年は7月に開催していましたが、業務に慣れ周囲との関係に悩み始める『入職2ヶ月目』に時期を早めて実施しました。自身の課題と向き合うこの時期だからこそ互いに支え合える関係を目指し、初日のバーベキューで垣根を越えて交流し、2日目は『コミュニケーション』をテーマに熱心に議論を交わしました。

■丁寧な対話が、安心・安全の医療を支える

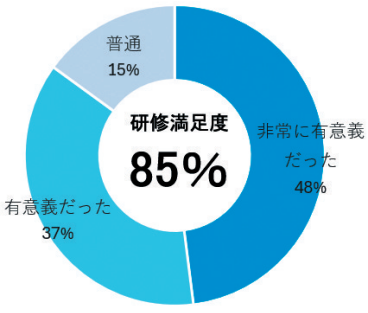
情報が瞬時に手に入る現代だからこそ、顔を合わせ、言葉を交わすことの価値が医療現場では高まっています。2日目の研修では、「申し送りで相手の背景を想像したい」「患者さんの訴えの裏にある不安に耳を傾けたい」といったコミュニケーション活性化に向けた具体的な意見が上がりました。患者さんの不安を汲み取り、スタッフ同士が声を掛け合う丁寧な対話こそが、医療安全の根幹であり質の高い医療を実現すると再確認しました。

「患者よし、職員よし、病院よし」という病院理念を現場でどう実践するか、それぞれの想いを語り合いました。

■研修から3ヶ月、現場での変化

研修修了直後のアンケートでは満足度85%という高い評価で、参加者からは「顔を知ったからこそ相談しやすくなった」との声もありました。研修から3か月後の現在、部署の垣根を越えて連携する姿があちこちで見られています。

私自身、今回で3度目の運営となりました。毎年、参加者の皆さんの頼もしい成長を感じるたびに、大きなやりがいを感じております。この研修で育んだ絆を糧に、私たちはこれからも患者さんと誠実に向き合い、安心・安全な医療の提供に努めてまいります。









# 消防訓練について

庶務班長 後藤（ごとう） 大樹（ひろき）




令和7年より庶務班長として福岡東医療センターに赴任し、庶務班長2年目を向かえ、令和8年度の消防訓練を再び担うこととなりました。現在の消防法では“病院は年2回以上の消防訓練（消火訓練及び避難訓練）の実施が義務化されており、訓練のうち一回は夜間に実施するよう努めること”とされています。今回の消防訓練は令和8年度の１回目となります。

避難訓練は日中に5階西病棟看護師休憩室から出火した想定で実施しました。庶務班長として私は前回に引き続き、本部・避難場所を設置し、各職場長から被災状況報告書（第2報）を用いた報告を受け本部と共有する役割を担わせていただきました。

今回の訓練に伴い、消防署からは訓練の為の訓練ではなく、本当に火事が起こったとイメージしながら訓練を行ってほしいとの講評を受けました。訓練は火事が起こった“想定”で行いますが、本当に火事・災害が起こり避難しなければならないとき、訓練通り各人の役割を果たすことができるかは日頃の意識を高く持ち、訓練を重ねる中で経験を積んでいくしかありません。職員にとって毎年行っている消防訓練の内の1回と捉えるのではなく、緊張感を持って取り組まなければならないと改めて実感しました。

また、今年度も避難訓練の後に模擬消火器を用いた消火訓練を併せて実施しました。火元からの距離感や、どの程度の炎までなら消火器で対応可能かの目安を現役の消防士から助言を受けながら訓練を受けることができました。実際に火事が起こった際の迅速な初期消火が行えるよう、職員の皆様、日ごろの準備、意識付けをよろしくお願いします。





## 編集後記

今年度の重点取組課題の一つに、外来待ち時間の短縮があります。昨年度の患者満足度調査では、外来に対する評価が十分ではなく、その要因の一つとして待ち時間の長さが挙げられました。

待ち時間を短縮するためには、さまざまな改善が必要です。現在、受付から診療までの流れの見直し、予約時間の適切な運用状況の検証、会計システムの効率化などに取り組んでいます。

これらの改善を着実に積み重ねることで、患者さんにとってより利用しやすく、安心して受診できる病院、そして地域の皆様から一層信頼される病院となることを目指してまいります。

表紙の写真は、ある日に病院を後にする際、宵の明星が病院を背景にきれいに見えていたので、写真を撮ってみました。写真中央の白い点が金星です。いろいろ調べてみましたが、金星で間違いないようです。同時刻では9月、10月と高度が下がってくるようです。

（統括診療部長　内山 秀昭）

FUKUOKA-HIGASHI MEDICAL CENTER

# 外来担当医一覧 令和８年９月１日現在 ※最新の担当医はホームページをご覧ください。https://fukuokae.hosp.go.jp/

**受付時間**

1）当院は全診療科予約制となっております。予約の方は、指定された時間にお越し下さい。
※渡航前健診や二次健診等の受付は午前８時30分から午前11時00分までとなります。
2）土・日・祝祭日・年末年始は休診です。**当院は救急告示病院です。**救急の方は、診療時間外でも受付いたします。

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科新患 | | 当番医 | 当番医 | 当番医 | 当番医 | 当番医 |
| 脳神経内科 | 新患 | 田中　恵理 | 林田　寛之 | 山中　圭 | 九大医師 | 黒田　淳哉 |
| | 再来(脳血管内科) | 今泉　利崇 | 中根博・山中圭 | 黒田　淳哉 | 林田　寛之 | 立花　正輝 |
| | 再来(神経内科) | - | 田中　恵理 | 田中　恵理 | 九大医師 | - |
| 糖尿病 | 新患 | 大城　彩香 | - | 鶴田　駿斗 | 徳田　信二 | 川野　聡子 |
| | 再来 | 徳田信二・鶴田駿斗 | - | 大城・徳田・川野 | 川野　聡子 | 大城　彩香 |
| 血液内科 | 新患 | - | 担当医 | 担当医 | - | 担当医 |
| | 再来 | 亀﨑　健次郎 | 亀﨑　健次郎 | 黒岩　三佳 | - | 黒岩三佳・坂本佳治 |
| 消化器科(消化管・肝臓) | 肝 | 高尾　信一郎 | 鈴木　秀生 | 大宮　絵美里 | 高尾信一郎・鈴木秀生 | - |
| | 膵胆 | 藤山　隆 | 大越　恵一郎 | 松尾　享 | 松尾　享 | 大越　恵一郎 |
| | 消化管 | 藤井　宏行 | 前原　浩亮 | 小玉将義・武末眞鷹 | 田中　宗浩 | 佛坂　孝太 |
| 腎臓内科 | 新患 | 松永　悠里 | 黒木　裕介 | 黒木　裕介 | 荒瀬　北斗 | 橋本　諒司 |
| | 再来 | 黒木　裕介 | 松永　悠里 | 橋本　諒司 | 黒木　裕介 | 荒瀬　北斗 |
| 循環器科 | 第一診察室 | 中司　元 | 中司　元 | 中司　元（再診のみ） | 中司　元 | 中司　元 |
| | 第二診察室 | 畠山　究 | 入江　圭 | - | 藤田　泰裕 | 升井　志保 |
| 呼吸器科 | 新患 | 中野　貴子 | 山下　翔 | 髙田　昇平 | 山下　崇史 | 神宮司祐治郎 |
| | 再来 | 山下　翔 | 髙田　昇平 | 山下　崇史 | 髙田　昇平 | 山下　崇史 |
| | | 瀬戸　隆ノ介 | 神宮司祐治郎 | 中野　貴子 | 石野　太雅 | 中野　貴子 |
| | | | 瀬戸　隆ノ介 | 石野　太雅 | | 山下　翔 |
| | | | 久澄　亮太 | 神宮司祐治郎 | | |
| 感染症外来 | | | 肥山　和俊 | | | 肥山　和俊 |
| 呼吸器外科 | | 濵武　大輔<br>野田　奈緒子<br>平田　朋久 | （手術日） | 濵武　大輔<br>吉田　康浩 | （手術日） | （手術日） |
| 外科 | 消化器 | 内山　秀昭<br>由茅　隆文<br>柏木　智泰 | 休診（急患対応可） | 長尾　吉泰<br>蓮田　博文 | 休診（急患対応可） | 内山　秀昭<br>冨野　高広 |
| | 乳腺 | 内山　秀昭 | 休診（急患対応可） | 石田　真弓 | 石田　真弓 | 休診（急患対応可） |
| | 血管 | 休診（急患対応可） | 松本　拓也 | 松本　拓也 | 休診（急患対応可） | 休診（急患対応可） |
| 整形外科 | 新患 | 松下　昌史<br>岡本　重敏<br>上妻　隆太郎<br>駒井　傑 | 吉本　将和<br>宮﨑　真太朗 | （手術日）外来休診 | 松下　昌史<br>上妻　隆太郎<br>安達　淳貴 | （手術日）外来休診 |
| | 再来 | | 安達　淳貴<br>町田　幹朗 | | 岡本　重敏<br>吉本　将和 | |
| 脳神経外科 | 新患 | 福本博順・日下部太朗 | 福本　博順 | 担当医 | 福本　博順 | 福本博順・日下部太朗 |
| | 再来 | 日下部　太朗 | 福本　博順 | - | 福本　博順 | 日下部　太朗 |
| 皮膚科 | | 中村　美沙<br>平野　早希子 | 中村　美沙<br>平野　早希子 | 中村　美沙<br>平野　早希子 | 中村　美沙<br>平野　早希子 | 中村　美沙<br>平野　早希子 |
| 小児科 午前 | 一般 | 山野　悟史 | 古賀　雅子 | 西村　真直 | 松尾　光通 | 金政　光 |
| | 専門(予約) | 増本夏子・中原和恵 | 松尾光通・川上沙織 | 李守永・中原和恵・松尾光通 | 李守永・西村真直 | 川上・中原・吉元（第1・3・5）春日井（第2・4） |
| 小児科 午後 | 専門(予約) | 李　守永<br>中原　和恵<br>春日井　悠 | 水野勇司・松尾光通<br>血液（江口克秀）<br>アレルギー（第2・4）<br>吉元（第1・5）春日井（第3） | 李守永・中原和恵<br>循環器（寺師英子） | 増本　夏子<br>李　守永<br>西村　真直 | 李守永・中原和恵<br>川上　沙織<br>アレルギー新患<br>〈喘息検査〉 |
| 放射線科 | 新患 | 月～金　渡辺　哲雄（※事前に必ず電話予約が必要です） | | | | |
| | 再来 | 渡辺　哲雄 | 渡辺　哲雄 | 渡辺　哲雄 | 渡辺　哲雄 | 渡辺　哲雄 |
| 歯科口腔外科 | | 吉田　将律<br>山手　佳苗 | 吉田　将律<br>山手　佳苗 | 吉田　将律<br>山手　佳苗 | （手術日） | 吉田　将律<br>山手　佳苗 |
| 婦人科 | 新患 | - | 久留米大医師 | - | - | ※要相談 |
| | 再来 | - | 久留米大医師 | - | - | ※要相談 |

●物忘れ外来（内科外来 内247）【担当医　田中恵】
『第２・第４金曜日９：00～10：00』
※予約受付は平日 月～金 13時～16時に TEL 予約

●痙縮外来　『水曜日』

●嚥下外来　『水曜日』

●緩和ケア外来（担当看護師 内8184）
『火曜日・木曜日　午前』


独立行政法人国立病院機構
**福岡東医療センター**
〒811-3195 福岡県古賀市千鳥１丁目1-1
HP　https://fukuokae.hosp.go.jp/
TEL　092-943-2331　フリーダイヤル0120-212-454（地域医療連携室）
FAX 0120-087-437